

一期生は体当たり



座談会で情報科学科について語り合った1期生5人や広報委員会の皆さん

座談会出席者 今川将成さん、小林ゆかりさん、佐野由里子さん、東尚美さん、舟橋英志さん(以上一期生)、石川聡教諭、永井広明副会長・広報委員長、北野芳憲副会長、長尾楯夫副会長、道木峰男理事、渡邊喜美子理事

した学科は他にはなくて、たまたま名電のカタログを見たら名電に新しくできるというこ

ンプレットは校舎がまだできあがっておらず、写真ではなくイラストを使いました。教材も製本が間に合わずプリントを配って授業、という状況でした。にもかかわらず名電高校を選んでくれたのが皆さんです。渡邊さん はじめに名電高校情報科学科を選んだ理由を聞かせ

校でCGをやれるとは夢のような話でした。今川さん 工業系かプログラミングの科に行きたかったのですが、プログラミングをメインに



担任だった石川聡教諭

全国で一番早く

石川先生 情報科学科は全国で一番早くスタートし、将来のI

Tを担うエンジニアやクリエイターを育てたいと、カリキュラムを作りました。入学案内のパ



CGを志した舟橋英志さん

舟橋さん 絵が好きで、高校からグラフィックをやるかと描き始めていたのですが、まさか高

開設13年卒業生5人が座談会

IT全盛時代の到来を予測するかのよう
に愛工大名電高校に情報科学科が誕生
したのは十三年前。卒業生は既に四百人
近くに達し、各分野で活躍、情報科学科
の名声を高めています。一期生三十八人
はその先がけでした。卒業から十年がた
ち、五人の方に母校に集まっていただい
て座談会を開き、情報科学科を選んだ理
由や思い出、仕事、将来への夢、後輩へ

のメッセージなどを語りあっていた
できました。出席者の皆さんが一致
して語ったのは「情報科学科で学ん
だことが今に生きている」というこ
とでした。入学したばかりの一期生
が一年の時に担任を務めた石川聡先
生にも参加してもらい、口火を切っ
てもらいました。(司会は同窓会理
事・広報委員の渡邊喜美子さん)

てください。小林さん 見学に来て、きれいな校舎に一目惚れしました。佐野さん 吹奏楽部が有名だったのでも名電に入りたくて。東さん パソコンや情報などを学びたかったからです。十年以上前、インターネットやITはまだまだこれからという時代でしたが校舎、設備がiMacなどすごく整っていて、期待が膨らみました。渡邊さん 私たちの時代は普通科しかなく、情報科学科はすごく魅力的でしたね。

1年生から気合

とが分かって「ここに行こう」と思ってた。と受験しました。

石川先生 みんな一年生の時から気合が入っていました。努力が芽生え、いろんなことにチャレンジしてくれました。特に覚えているのは女子チーム。電卓の計算技術の競技会があって、情報科の生徒が優秀だと言われて授業後に特訓を受けて、大会に出ました。IT選手権の新人戦にも参加、愛知県で優勝、全国でも三位に入りました。生徒会活動も一年生後期から役員を務めました。二年生の時、東海財務局のホームページコンテストでは東さんが最優秀でした。税金のことを分かりやすく教えるデザイン。中身も頑張つて、東海財務局からは「すごい作品だから小中学校で教材として配りたい」と言われました。東さん 愛知県のコンテストもあり、名電高校や情報科学科を紹介するHPを作り、最優秀になりました。舟橋さん お茶運びのからくり人形をCGで作って愛工大のA ITサイエンス大賞で発表したことがありました。実物をCGにしてどうやって伝えるか。これが僕たちの基本でした。今川さん そんな舟橋さんの話

11期、382人が卒業

情報科学科 平成14年4月に1学年1クラスの体制で開設、平成27年3月までに累計で11期382人が卒業しました。もともと高校の工業学科の電子科の中に情報コースがありHPなどを特化してやっていたため全国に先駆けてスタートしました。愛知工業大学に数多く進学する



1期生のオリエンテーリング

ほか、国公立大学や関東、関西の難関大学に挑戦する生徒もいます。発足にあたって、新校舎の目玉にと、MAC室やネットワーク室、CADの部屋を整備、入学式当日に父母に披露するなど力が入っていました。

先端の情報科学科

思っています。舟橋さん 大阪にあるゲーム会社でキャラクターを作ったりしています。高校で3年間CGを勉強したというのはかなり稀で、周りの子に教えられるよう



営業に意欲
小林ゆかりさん

を聞いて感動しました。伝えるためのものづくりが今の僕の基で、デザインの世界でもやっていきたい、できたら会社も起きたいなど思っています。渡邊さん 皆さんの現在のお仕事事を聞かせてください。小林さん システム開発の会社で営業をしています。今後は人脈を生かして何かやりたいなど



大学で勉強も
東尚美さん

な状況からのスタートでした。東さん 企業さんなどのグッズ作っている会社で営業をしています。高校でデザインとかプログラミングを自分でやってきました。お客さんとデザイナーをとつなぐ仕事が入っているなと思っています。石川先生 東さんは本校の卒業アルバムを担当しています。卒業アルバムが大変おしゃべりになりました。東さん 仕事とは別に、経済のことを、いろんな人に教えてもらおうと新聞の経済記事を読む社会人を対象にした勉強会を主



CADで力を発揮
佐野由里子さん

催しています。慶応大学にも在籍して、経済と経営の勉強をしています。中小企業で働いているので、ものづくりの現場が元気になるような研究を出来たらなあと思っています。佐野さん 以前、アパレル業界

多彩な人材輩出

石川先生 今は普通科の生徒も情報を学ぶ時代ですが、情報科学科の同窓会を開くとスマホを仕事用、個人用と使い分けている生徒が多い。卒業生の中には、飛び入学した生徒とか大学院を

でパターンナーとして、CADで型紙を作っていました。CADに詳しいということで、今でも教えに来てほしいという話があります。小林さん もっと英語を勉強したいと大学は英文科へ行きました。これからコンピューターに力を入れるという大学でしたが、どうしても行きたくて、アピールして指定校枠を作ってもらいました。次の世代の人たちもここへ入れるようになったと後から聞きました。



起業が夢という
今川将成さん

首席で卒業した生徒とかいろんな生徒がいます。縦につながるWeb、ネット、プログラミングなどいろんな仕事にかかわる人がたくさんいる。現在人気のも卒業生。在校生がその本を使つて勉強しているわけです。渡邊さん 後輩に贈る言葉を。小林さん 営業をやっている立場で言うと、デザインとプログラミングの両方をわかっている技術者はすごい力になる。説明する時、両方の間に入ってあげることができる。今川さん 何をやっても楽しい

時期、やりたくないことがあるかもしれないけど、何でもやった方がいい。今後に生きてくる。東さん 失敗しても努力したことは裏切らないと思います。永井委員長 一期生は何もない中で大変だったということがよくわかりました。一つのことを続けていけば世の中の広がりがどんどん出てくると思います。名電を卒業したことを誇りに思いながら、これからも頑張ってください。

女流アマ名人戦 初出場でタイトル

—遠山侑里さん



遠山侑里さん

昨年、第四十七期女流アマ名人になりました。初出場で獲得でき、将棋仲間に感謝しています。将棋をやるからには、ずっと「一番を」と狙っていました。しかし、考えることは皆同じで、優勝することは、とても困難でした。自分の苦手な「序盤」を修正し、大会に挑みました。もちろん、全ての対局で、ずっと優位にいたわけではなく、「こ

れは負けたな」と思うこともありました。しかし、気持ちで負けたら、本当に将棋も負けてしまうことが分かっているのです、どうやって逆転しようか考えるようにしました。「序盤」の力に比べて自信のある「終盤」の力で、逆転勝ちをすることができました。もともと「序盤」の勉強をし、更に「終盤」に磨きを

入れ、アマチュア界のナンバーワンと皆に認められるようになりたいです。

女流アマ名人戦だけではなく、他のタイトル戦もあります。今後も、油断せず他のタイトルも狙っていきたいです。また、女流アマ名人になったことにより、女流棋士のタイトル戦の予選に出場する予定です。それまでにもっと強くなり、勝ち、名を広げていきたいです。応援よろしくお願います。(平成27年卒)

数多くの海外渡航 新しい発見と感動

—高木信一さん



高木信一さん

助手時代を含め附属中学校、名電高校に合わせて二十二年間勤め、電気、機械、通信などを教えました。今回は退職後の思い出を書いてみました。退職してから製造会社の経営に参加し、事業の関係で欧米等十数カ国へ渡航しました。製品の発表会や展

示会に出張のため延べ百数十日間の滞在でしたが、米国では、その雄大でスケールの大きさに驚き、また、ヨーロッパの伝統的な建物や古風豊かな文化的遺産等に接し、魅力を感じ、感激させられました。

渡航する度に新しい発見と感動を体験しました。懐かしい過去を振り返ってみますと、国内の勤勉で、せせこましい慌ただしさに比べ、海外ではおっとりとして、悠長というのか、のんびりというのか、言ってみれば、国民性の違いを大いに感じたものです。(但し、香港やシンガポール、台湾の大会等ではあまり相違は感じませんでした)

例えば鉄道。わが国では時間に正確で必ず改札口があり、改札なしには通れません。欧米の駅ではほとんどフリーパスで改札もありません。また時間にはルーズで時刻表通りには到着もしなければ発車もしない。そうかと言って文句を言う人もいないようです。無論、車内での車掌による検札はあります。あれこれ空想しながらの旅行、有意になると思います。(昭和28年卒)

体育施設3件整備

学園は若水キャンパスで北千種体育館(仮称)とグラウンド新設、春日井総合運動場で野球場の拡幅を進めてきました。いずれも隣接地取得に伴うもので、この春に完成します。



若水キャンパスに姿を現したグラウンド(手前)と新体育館

れた地鎮祭で、後藤淳理事長は「子どもたちが好きなことに力いっぱい取り組めるように環境整備することが大切です。十分な面積ではありませんがぜひとも有効活用してほしい」と挨拶しました。

春日井の野球場は昭和五十三年に当時高校野球愛知大会決勝が行われていた熱田球場と同規模で完成しましたが、今回、西側の区画整理余剰地を取得できたため、グラウンドをライト方向(西側)に約十五度回転させる形で拡幅、初の大改修となりました。本塁から両翼へは百呎、中堅へは百二十二呎の距離となり、阪神甲子園球場並みの広さといえます。本部席、ダツグアウト、ピッチング練習場、スコアボードの各施設も移転新築されます。昨年十一月十一日、現地で行われた安全祈願祭の後藤理事長は「野球部の選手たちはここで練習して何度も甲子園に出場、選抜では一度優勝しました。少し広げることができたのであらためて整備することになりました。来年の夏は頑張ってください」と述べました。

やあ！ お元気ですか

卒業生寄稿

地域づくりに貢献 名古屋市議3期目

—中里高之さん

私は昭和五十八年に名古屋電気高等学校を卒業しましたが、私の三年間はまさに野球漬けの毎日でした。「甲子園で校歌」を目標に、小砂利混じるグラウンドで白球を真っ暗になるまで追いかけていたことは、今でも鮮明によみがえってきます。その時の仲間を時を経てもかけがえのない宝物になっけていますし、その時の経験は私の人間力の土台を築いてくれたと思っけています。

私は高校卒業後、愛知工業大学を経て、すぐに政治の世界に飛び込みました。



委員長

中里高之さん

私は二世議員ではなかったので政治のイロハが分からず、戸惑うことも多く、悔しい思いもりましたが、その時支えてくれたのは当時

の仲間であり、人間力でした。

今、私は名古屋市議会議員として三期目を迎えますが、ようやく政治家としてスタートラインに立てたのではないかと思っけています。私は政治家を志した時、明るく健康的な地域社会をつくらうと強く誓いました。まだ道半ばですが、引き続き、名古屋市民の皆さまのために粉骨砕身働きたいと思っけています。

最後になりましたが、同窓会の皆様の今後の一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますとともに、名古屋電気高等学校のさらなる発展を祈念いたします。

ティアの創業時も 成せば成る精神で

—池戸正勝さん

昭和三十五年四月。たしかこの年から名称が変わった名古屋電気工業高等学校の入学式。ブラスバンドの演奏が強烈に心を揺さぶった。よし！自分もやるぞと決め、一週間後部室を訪ねた。残りはドラム部門しか

空きが無いと言う事で決定。ドラムの練習は喧ましいので木造校舎一階の実習室で机を叩く日々でした。

後藤鉦二学長が事ある毎に言われていた「成せば成る」の精神で努力すれば上達するもので、昭和三十七年に名古屋市とロサンゼルス市との姉妹都市提携三周



池戸正勝さん

年記念学生吹奏楽団派遣の一員に中部九県下の高校生の中から選ばれ、先頃まで教鞭を執っておられた菅井先生達と一緒に掛替えのない経験を頂きました。

平成九年、葬儀会館ティアの創業時も「成せば成る」を念仏のように呟きながら頑張った事を思い出します。同窓会葛谷会長とは三年生の時、先年惜しくも亡くなられた野牧先生の担任の下で多くの薫陶を受けたものです。

想い出多く書ききれませんがこの機会を頂いた長尾副会長に感謝いたします。(昭和38年卒)

部活動宣言高らかに

名電高校は昨年七月十八日の終業式の席上、「誠実と勤勉の実践」など四項目からなる部活動宣言をしました。学園創立以来、「誠実・勤勉」の校訓の下、スポーツを通じて心身を鍛え、正しい生き方を学ぶためにスポーツが奨励され、部活動は学園の伝統となってきました。生徒の六〇七割が参加し、多くの部が全国を舞台上に優秀な成績を収め、名選手も数多く輩出しています。学園創立から百年を超えたのを機に、運動系、文科系の三十六すべての部活動が原点に立ち返り、その取り組み姿勢を改めて明確にし、生徒一人ひとりが胸に刻むものです。

挨拶で久保芳孝校長は「切磋琢磨しながら自らを高めることは社会に出てか

らも大きな財産となります。その意義はこれからも変わらないでしょう。部活動に入っていない人にとってもその精神は非常に重要です」と宣言の意味を強調。四項目のキーワード①誠実と勤勉の実践②社会や地域への貢献③目標の実現④感謝と謙虚—について説明しました。



この後、生徒を代表し、高校ではクラブ代表者会議議長長の早川葵さん(三年、軟式野球部マネージャー)、写真が、中高一貫コースでは久米春貴君(三年、フェンシング部部長)が宣言文を読み上げました。

◆部活動宣言◆

一つ、私たちは、本校生徒としてのルールを守り、学業と部活動との両立をめざし、誠実と勤勉を実践します。
一つ、私たちは、部活動を通じて健全な精神と身体を養い、社会や地域に貢献します。
一つ、私たちは、初心を忘れることなく、それぞれが定めた目標に向かって突き進み、その努力を貫徹します。
一つ、私たちは、周囲に対する感謝の念と、互いを尊重する気持ち、そして謙虚な態度を常に忘れません。

平成27年役員総会

副会長に永井氏

愛工大名電高校同窓会の平成二十七年役員総会が昨年五月二十九日、名古屋市内のホテルで開かれ、役員約四十人が出席しました。長尾楯夫副会長が「若い人や女性にもどんどん理事になつてもらい、さらに活力

ある同窓会にしていきたい」と挨拶しました。議案審議のほか副会長に常任理事の永井広明氏を選出しました。永井氏は昭和五十一年卒業で、席上、「若輩ですが長尾副会長から叱咤を受け、微力ながら全力で務めさせて頂きます」と述べました。

絆を繋ぐ

春光うらかな季節を迎え、会員の皆様には益々ご



健康の事とお喜び申し上げます。また日頃より同窓会の活動にご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、諸先輩方より、葛谷会長を補翼すべく副会長に就任せよのご指名を頂きました。また同時に広報委員長も仰せつかり、卒業生およそ六万名になんなんとする、歴史と伝統のある同窓会の運営、その一端を担う責務の重大さに、身の引き締まる思いがいたします。「心のよりどころとなるような同窓会を目指す」

永井広明

新副会長・
広報委員長

という、葛谷会長の掲げられた指針を貫き、微力ながら全力を尽くしてまいりたいと存じます。

同窓会の目的は会員相互の親睦を図り、お互いの「絆」をさらに深め、母校の伝統を守り、次の世代への橋渡しをし、その発展を願い、交流する事でありま

す。長い間、諸先輩方がご努力され築きあげられた同窓会の活動を若い同窓生へと「絆」を繋いで行きたいとの思いを強く抱いております。

若手クラス幹事と交流

同窓会役員とクラス幹事との懇親会が一月三十一日、名古屋市内のホテルで開かれ、合わせて約五十人が賑やかに交流しました。葛谷会長が開式の辞を述べ、来賓挨拶で久保芳孝校長が学報報告しました。

にしていただきたいと思

います。我が同窓生は社会の様々な分野で活躍されていく方々が多く、後に続く後輩の方々の頼りにされ、親しく語り合う機会を創造し、必要とされる同窓会でありたいと念じております。

会員の皆様に同窓生や母校の近況をお知らせする「同窓会だより」と「ホームページ」へ、皆様から数多くの幅広い情報をいただき、すばらしいと称される様な会報を発行していきたいと思っております。若い会員にもっと沢山ご参加

また吹奏楽部出身でプロ

のフルート奏者として活躍する笠置陽子さんが美しい音色を披露、会場を盛り上げました。若手幹事たちからは職場や大学での近況報告もあり、「名電高校の教師になりたい」と希望を話す学生もいました。



フルートの美しい音色を披露する卒業生の笠置陽子さん

部活動17件に激励費

同窓会は全国大会出場への活動に対し激励費を贈っています。昨年七月十八日に卓球・フェンシング・バレーボール・相撲・自転車・ウエイトリフティング・陸上短距離・チャリデーイン・グ・剣道・将棋の十クラブ、九月十八日に水泳・ゴルフ・吹奏楽・バドミントンの四クラブ、十一月十三日に吹奏楽(マーチング)・ウエイトリフティング(女子)・ボウリングの三クラブに対しクラブ表彰の席上、お渡ししました。

平成28年卒業 クラス幹事の皆さん (計34人)

- 【普通科】▽A組 志賀大知、山田幹太▽B組 安藤大貴、韓雪▽C組 清水雄大、水谷祐基▽D組 早川葵、山口友喜▽E組 中野翔太、森聖弥▽F組 高橋克暢、堀内涼央▽G組 堀江日奈子、浅井由衣▽H組 五十嵐侑希、伊藤祐哉▽I組 佐藤嶺、三輪和輝▽J組 前田基彰、天野雄介▽K組 中川稔英、安藤駿▽L組 伊藤大貴、五島稜大
- 【情報科学科】▽A組 曾我兼大、横関祐希
- 【科学技術科】▽A組 後藤ジュン、長谷川優斗▽B組 神村健太、佐藤桃子▽C組 石川雄大、桑田昂汰▽D組 加藤恒太、新見心

平成27年度同窓会常任理事会 会長葛谷捷臣、理事・アドバイザー加藤訓、副会長北野芳憲、同長尾楯夫、同永井広明、監事今津孝、同更谷光夫、常任理事羽佐田修二、同平田俊之、同近藤春彦、同宇田秀樹、事務局長石川聡、会計三宅覚、同増田朗
広報委員会 委員長永井広明、副委員長 道木峰男、同近藤春彦、委員今津孝、同松本和彦、同東伸二、同渡邊喜美子、同柏太輔、会長葛谷捷臣、アドバイザー加藤訓、副会長長尾楯夫、事務局長石川聡、会計増田朗

ダンス同好会

初の全国大会

名電高校ダンス同好会は昨年八月十七日、パシフィコ横浜（国立大ホール）で行われた日本高校ダンス部選手権（一般社団法人ストリートダンス協会主催）全国大会に出場しました。



ダンス部選手権全国大会に出場したメンバー

同好会は二〇一二年に有志七人によって結成され、今年で創部四年目。現在部員数は一、二年生合わせて四十二人と大所帯になりました。二〇一三年度からは本格的にコーチによる指導を受け、出場三回目となった今年度、東海・北陸地区予選を突破できました。選手権で踊るダンスは特

にジャンルの指定はなく、ヒップホップ、ブレイクダンス、創作ダンス（バレエ）等様々なエントリーがあり、名電の同好会はヒップホップで出場しました。

顧問の清水隆博教諭は「全国的にもダンスの部活は歴史が浅く、大会などもまだ確立されていません。しかし文部科学省の新学習指導要領でもダンスが必修化され、今後のダンス人口の増加に伴い、ダンス同好会は成長が期待されます」と話しています。



中国語の勉強をする中国語研究部

中国語で道案内も

中国語研究部は二〇〇五年の愛知万博をきっかけとしてスタートしました。名電高校は、大学が交流している東南大学の附属高校、南京市第九中学と交流を始め、彼らを万

博に招待しました。この時、中国語研究部の生徒（当時は同好会）が中心となって、中国人生徒のお世話をしています。

部活動では、中国語や中国文化を学ぶほか、年に二回開催される中国語発表会の練習を行っています。生徒は発表会で、中国語の課

高校総体ダブルス19年ぶり優勝

卓球部全日本ジュニアも20年ぶり



優勝した松山選手(左)と木造選手(月刊「卓球王国」提供)

昨年夏のインターハイ卓球男子ダブルスで高校卓球部の松山祐季選手（二年）と木造勇人選手（一年）のペアが優勝しました。八月に大津市で行われた決勝は強敵の明德義塾（高知県）ペアと対戦、第一ゲームは明德義塾に先制を許しましたが、その後は慌てずに自分たちのプレーに徹した本校ペアが明德義塾を圧倒。三ゲームを連取し、3-1

題文の朗読や暗唱をし、学習成果を披露しています。また、中国人留学生との交流も行っています。今年の二月には岐阜県の日本語学校を訪問しました。

今後、学んだ中国語で、観光客に道案内をするような活動にも取り組んでいく予定です。（安武正浩教諭）

で逆転勝ち、十九年ぶりの優勝となりました。シングルスでは木造選手が準優勝

高校教諭ら5人退職

高校の教員ら五人が三月末で退職します。社会の佐野博道教諭は四十一年、工業の玉置輝男教諭は四十三年、英語の坂倉富行教諭は五年、野球部部長を務めた英語の織田秀彦教諭は三十七年、元英語教諭で高校事務の青山春樹さんは三十八年勤務されました。

同窓会アマ無線クラブ
緑化フェアPRに一役
同窓会のアマチュア無線クラブ（羽佐田修二会

しました。団体戦は準決勝で野田学園（山口県）に敗れ、惜しくも三位でした。また木造選手は一月に東京体育館で行われた全日本卓球選手権大会の男子ジュニアの部で優勝しました。

木造選手の優勝は、愛工大名電として真田浩二先生（中学卓球部監督）以来二十年ぶりです。松山選手と高見真己選手は（一年）はベスト8でした。

一方、附属中卓球部は団体で、春の選抜、夏の全中の全国大会六連勝を続けています。



長、十一名）は毎秋恒例のフィードバックとして昨年十月十八日、愛・地球博記念公園で開催中の全国都市緑化愛知フェアに参加しました。公園内に特設された記念局をこの日一日運用管理を任せられ、全国のアマチュア局約百局と交信し緑化フェアのPRに一役買いました。写真。

久保芳孝校長の学校報告

同窓会の皆様には、葛谷会長様をはじめ、日ごろから本校の教育活動にご理解・ご協力をいただいておりますことには心から感謝申し上げます。



愛知工業大学名電高等学校及び愛知工業大学附属中学校は、学園、同窓会、PTA等様々な方面からのご支援をいただきながら着実に教育実践を積み重ねております。

本年度は名電高等学校に六百八人、附属中学校に百十八人の入学生を迎えてスタートしました。ともに本校に対する外部からの高い評価を物語る好調な募集状況でありました。これも、一重に同窓会をはじめとする多くの皆様方からのご支援の賜物であります。

この紙面をお借りして平成二十七年年度の教育活動の成果の一端をご紹介いたします。進路指導においては先生方の献身的な指導と真摯に学習に打ち込む生徒たちの努力により、愛知工業大学に二百五十六人(平成

国公立大学合格 例年以上に

二十七年十二月二十二日現在)の合格者を出すことができました。その他、関東の立教大学、中央大学、関西の同志社大学、関西学院大学、立命館大学などの有名私立大学にも多数合格しております。

さらに今年度の特徴としては、例年以上に国公立大学への合格者が多いということが挙げられます。十二月二十二日現在で十六名の合格者を出しております。この『同窓会だより』が皆さまのお手元に届くころには、三月中旬・下旬発表の国公立大学合格結果も明らかになっており、さらに多くの生徒が栄冠を手に入れていることと思います。

専門学科では、ITパスポート試験に一名、情報技術検定一級に一名、基本情報処理技術者試験三名、計算技術検定試験一名、第二種電気工事士試験三十五名など、超難関と言われる資格検定に数多くの合格者をだしており、一名がジュニアマイスター・ゴールド、五名が同・シルバーの表彰を受けております。

さらに、本年度全国大会出場を果たした運動系部活

動は剣道、相撲、卓球、陸上(短距離)、フェンシング、ウエイトリフティング、バレーボール、自転車競技、水泳競技、チアリーダーリング、ゴルフ、スキー、ボウリングであります。また、文科系部活動では、将棋、吹奏楽そしてメカニカルアーツが全国大会に出ています。そのなかで特筆すべきは、卓球部の男子ダブルス全国優勝が挙げられます。また、附属中学校の卓球部は昨年度に引き続き団体で全国優勝を果たしております。

部活動のこうした成果は生徒や指導者たちの日ごろの努力の賜物であることはいうまでもありませんが、同窓会の皆様からは、全国大会出場に際して、その都度激励金をいただいております。全国レベルの大会で生徒たちが思う存分自分の力を発揮することができますのも、このような心強いご支援があつてのことです。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

同窓会の皆様方の益々のご健勝、ご活躍を祈念しつつご報告とさせていただきます。

高校PTAから

同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃はPTA活動に対しまして、ご理解ご協力を賜りありがとうございます。今年度PTA会長を務めさせていただきました瀬田亜子と申します。何卒宜しくお願い申し上げます。わが子と名電高校の入学式に出席した日がつい最近のように、令和記念館に続き、今春完成予定で校舎北側に新しく体育館とグラウンドを整備し、生徒への教育環境の充実を図り続けています。そして、毎年六百余人の生徒が進学・就職と名電の卒業生として社会へと巣立っていきます。常に生徒の成長に努力を続ける名電高校は、新たな百年へと進んでいる事を実感できる三年間となり、今後どのように名電高校が進化していくのかを楽しみに感じると共に、名電高校から社会に素晴らしい人材を輩出し続ける事を期待いたします。

わが子の母校、誇りと感謝と

瀬田亜子・高校PTA会長



瀬田亜子会長

考えますが、早三年が経とうとしております。とても立派な校舎で、素晴らしい吹奏楽部の演奏を聴いて感動し、ここで三年間学業、部活動に励むわが子の姿を想像した日がいよいよ出されます。さて、名電高校においては、学園創立百周年時